

美波町医療保健センター基本設計業務公募型プロポーザル 第二次審査公開ヒアリングが開催されました

10月27日(日) 美波町コミュニティホールにおきまして、美波町医療保健センターの基本設計業務を委託するにあたり、業者選定の公開ヒアリングを開催いたしました。これは、美波町医療保健センターは周辺施設も含め、住民の方々の日々の生きがい交流拠点として親しみある空間、訪れやすい施設とするため、業者選定から住民参画また情報の共有化を目的として美波町では初めて実施いたしました。

第一次審査を通過した5者による公開プレゼンテーションを行い、最終審査を行った結果、次のとおり最優秀者及び優秀者を決定いたしました。

なお、ヒアリング資料(技術提案書)については、美波町ホームページに掲載しています。

最優秀者 有設計室(東京都)

優秀者 有限会社 kwhgアーキテクト(東京都)



インタビューにおいて美波町住民の幸福を増進させることを目標とし、様々な体験を行なう中で、その達成について考えた。その結果として、道の駅ひわさの商取引を活性化させることで安定的雇用の実現と商品の

地域づくりインタビュー事業 活動報告

8月7日(水)～8月21日(水)

関西学院大学

法学部

政治学科

文学部

地理学

3年

三隅 貴史

充実、そして住民の愛郷感情を増進することで住民に貢献することを提言した。

対象とするのは愛知県知多半島北部の新四国霊場付近に住む六十代の夫婦である。この対象を設定した理由は、信仰に厚く、四国霊場を巡礼したい、もしくは、自分の近所にある札所と同じ番号の霊場を参拝したいという潜在的需要が高いと考えられるからである。また、四国へあまり訪れたことがないと考えられ、四国土産への購買力も強いと考えられるからである。そして、淡路島から四国入りする際に、最も徳島が近いと



いう地理的環境にあることもあげられる。

提案するプランは、二泊三日の「発心の道場」阿波一國打ちによる二十三ヶ所巡礼である。薬王寺は阿波一國打ちの最後の霊場にあたり、汽車・高速バスの方に近い。そのため、終着点として適している。つまり道の駅ひわさで土産物を購入させる様に誘導することができると考える。